

## <発表資料>

# - 社史・アーカイブ総合研究所 - 「口絵」は自由な発想で構成を その2

口絵の企画の傾向は、おおむね以下の3つのパターンに類型化できます。

まず「会社案内型」です。現在の業種・業態をビジュアルで表現します。通常は社屋や工場製品などの写真

### 口絵の企画の傾向

- 会社案内型……現在の業種・業態をビジュアルで表現
- イメージ型……事業のイメージをビジュアルで表現
- 歴史ストーリー型……ビジュアル要素だけで会社の歩みを表現

で構成されます。部品メーカーや素材メーカーなどBtoB系の業種の場合は、自社製品を使用した最終製品の写真を掲載することで「社会のここに役立っています」という点をアピールすることもあります。社員が働く姿を撮影した職場風景を入れることで、ダイナミックで生き生きとしたイメージの喚起を狙うケースもあります。

次は「イメージ型」。これも業種・業態紹介ですが、具体的な建物や製品ではなく、それらを造形的に撮影したり、写真を合成したりして、事業のイメージを抽象的に表現します。大企業の社史に多いパターンですが、撮影費用がかかるので、最近はあまり見られません。

最後が「歴史ストーリー型」です。創業期から写真や製品、文書などが残されていて、ビジュアル要素だけで会社の歩みを表現できる老舗企業の社史で多く見られます。写真の意味を説明することによってストーリー性をもたせるため、説明文が長めになる傾向があります。

以上が多く見られるパターンですが、他にも全社員の写真を載せたり、記念式典の模様を載せたりするなど、いろいろなパターンがあります。口絵には決まり事はないので、自由な発想で作って構いません。

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。  
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

## - 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える

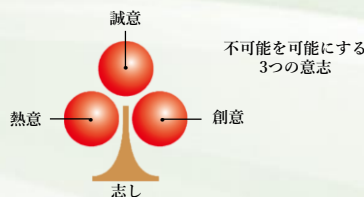
# 出版文化社

【代表者】  
代表取締役社長 木戸清隆  
【創立】  
1984年2月6日  
【資本金】  
99,234,300円

【東京本部】  
東京都中央区新川1-8-8  
アクロス新川ビル4F  
TEL：03-6823-6820（代）  
【大阪本部】  
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30  
船場グランドビル8F  
TEL：06-4704-4700（代）  
【名古屋支社】  
名古屋市熱田区五本松町7-30  
熱田メディアウイング3F  
TEL：052-990-9090（代）

## Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。  
編集は自社内で一貫して行っています。  
専門家＝アーキビストが常駐しています。  
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



# 社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所  
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute  
代表者 小谷允志  
設立 2019年10月1日  
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）